



TAK'S PERFORMANCE PARTS

VPクラッチ取り付け説明書

TPP®VRSC Series

TPP 012 VRSC用 2002年モデル以降

【重要】この取り付け説明書は、普段からハーレーダビッドソンの整備に従事されているプロのメカニック向けに公開しております。個人様での取り付けは推奨致しません。また、個人様が取り付けた場合の保障は一切致しかねますので、何卒ご了承ください。

重要

取り外したストックリテーナーはクラッチのメンテナンスの際(クラッチディスクの交換等)に必要となりますので大切に保管するようにしてください。

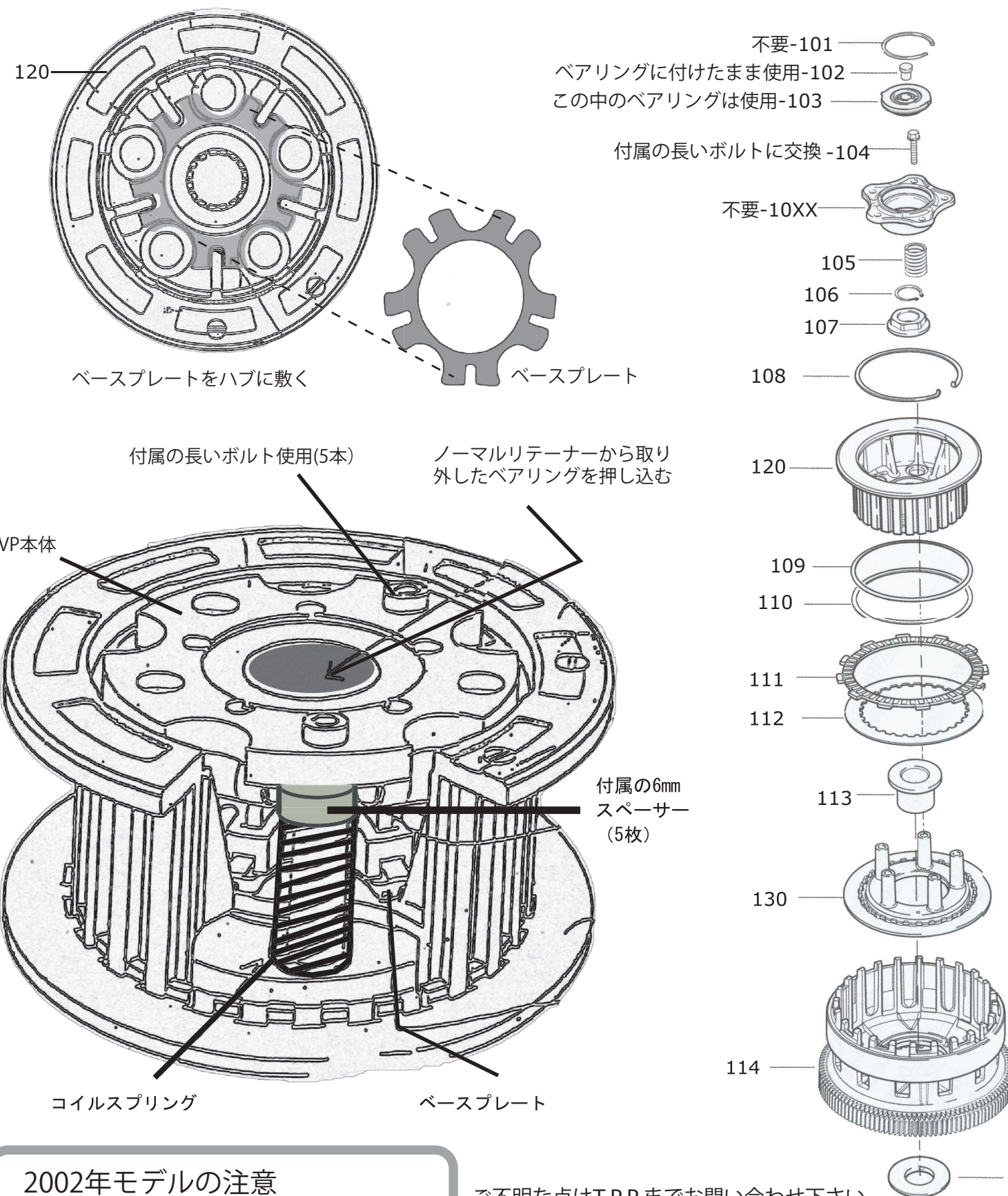
- 1) ジャッキを使用しない方が、オイル漏れも少なく取り付けもしやすいです。
- 2) 車両にまたがってサイドカバー右(エアークリーナーカバーの前下。)を取り外しメインヒューズを外します。
- 3) サービスマニュアルに従ってエキゾーストを取り外します。
- 4) 油圧アクチュエーター、クラッチカバーを取り外します。
- 5) オイルリテーニングリング(108番)を取り外し、10mmソケットでボルト5本を均等にゆるめてリテーナーを取り外します。取り外したリテーナーの裏からベアリング(103番)を押出してください。
*取り外したストックリテーナーはクラッチのメンテナンスの際(クラッチディスクの交換等)必要となりますので大切に保管してください。
- 6) ベースプレートをハブ(120番)の中に取り付けます。
*チューニングエンジンの場合先に内径12.5mmのワッシャーを入れてからコイルスプリングを装着します。3枚敷くとスプリング圧がノーマル値となり完全な強化クラッチとして使用できます。ノーマル排気量の場合はワッシャーは必要ありません。
- 7) VPクラッチ本体に付属の長いボルト5本を挿し、全長6.0mmのスペーサーをそのボルトに差し込みます。うまくコイルスプリングをかわしながらVP本体を取り付け、ひとつ飛ばしにボルトを均等に締めます。最終トルクは9.7Nm(85in.lb)
- 8) (5) で取り外したベアリングをVP本体に押し込みます。オイルリテーニングリングを取付します。(向きに注意!ベアリングは奥に当たるまで入れます。) *** (注)
- 9) 新しいガスケットを用いてカバーとアクチュエーターを取り付けます。
- 10) 何度かクラッチレバーを握って動作を確かめてください。フルードを点検し、必要に応じて油面調整をしてください。適正でないとクラッチ操作に支障をきたし死亡事故等重大な事故の原因になります。

- 11) その後エキゾーストを取り付けます。

軽くてスムーズ、クラッチの圧力変化を楽しんでハーレーライフを満喫されることを願っています。

(注) クラッチフリクションディスクの点検について

作業工程(8)で120番のクラッチハブに108番のオイルリテーニングリングを装着する際、通常VP本体とこのリングとのクリアランスは1mmほどあります。もし、このクリアランスが少なくVP本体とリングが接触するようならクラッチフリクションディスクの磨耗が考えられます。その場合はクラッチフリクションディスクを点検し、1枚でもサービスリミットの3.62mm(0.142in)未満のものがあればすべてのクラッチディスクを破棄し、新しいセットと交換してください。特に多走行距離車両はお気をつけ下さい。



2002年モデルの注意

107番のハブナットにVP本体が干渉するものがあるようです。その場合下図のようにハブナットのツバを削ってください。



クラッチハブナット8008M

ご不明な点はT.P.P.までお問い合わせ下さい。

Tak's Performance Parts

791-2113 愛媛県伊予郡砥部町拾町3-1
Phone : 089-958-1080 Fax : 089-958-1154
www.bluepanther.jp

注)TPP及びVariable Pressure Clutchはブルーパンサーの登録商標です。
国際特許申請ナンバー PCT/JP2004/007658